



産業振興と  
環境の調和を

佐々木 勝さん (篠木)

農業関係の仕事に勤務していますが、日本の農業に危惧しています。

食料自給率、農業の担い手、認定農業者の高齢化、農業所得などの問題が山積しており、早急かつ抜本的な対策を望みます。

これら全ての問題は、地方行政または農業者レベルの問題ではなく、食の安全や、食料自給率など国の農業政策の問題であると考えます。

産業と環境の調和した元気な村であることを希望します。



産業の振興・観光

(千円以下切り捨て)

「産業が元気なまちをつくります」

- 滝沢村シルバー人材センター補助金…… 350 万円
- 特産品開発振興事業費…………… 85 万円
- 滝沢村中小企業振興資金預託金…………… 5,300 万円
- 産学官連携コーディネーター共同研究負担金… 80 万円
- 滝沢村ベンチャー企業支援事業補助金 …… 450 万円
- キャンプ場管理事業費…………… 464 万円
- チャグチャグ馬コ関係事業費…………… 527 万円
- 農業担い手支援育成事業費補助金 …… 1,460 万円
- 新しいわて農業担い手支援総合対策事業費補助金 978 万円
- 相の沢牧野管理費…………… 2,493 万円
- 滝沢村土地改良事業補助金…………… 734 万円
- 森林整備地域活動支援交付金…………… 422 万円
- 滝沢村地域職業相談室管理運営費…………… 124 万円
- 滝沢村産業まつり実行委員会負担金…… 160 万円
- 環境にやさしいりんごづくり推進事業費補助金… 83 万円
- 畜産環境改善支援事業費補助金…………… 234 万円

- 問** 農業費の全体的な予算額がここ数年減少傾向にあるが、その内容は、堆肥舎の整備が必要だった年度には伸びた時もありましたが、確かに減ってきております。そこで農林課としては作目ごとの重点施策を推進しながら、関係各位と取り組んでいく考えです。
- 答** 改正食品衛生法が18年5月から施行されますが、その詳しい内容は、いわゆるポジティブリストでありませんが、農業に対して明確な残留基準の一覧表を設け規制するものであります。また、監視は盛岡保健所で行います。
- 問** 基幹水利施設管理事業の内容は、岩洞ダムの水路の維持補修を行うもので、受益面積割で負担しています。
- 答** 老朽化している岩洞ダム水路の耐震調査および補修の状況は、国において、年次計画を立てながら調査および補修、改修を行っています。

自治体の財務内容が厳しく評価される時代です。予算の規模は対前年をやや下回ったものの、自主財源の中心である村税が増加し、村債及び繰入金とともに減少しました。

賛成  
討論

阿部 長俊 議員

この予算は、住民の切実な要求にこたえているかという点で不十分です。さまざまな福祉事業が縮小、廃止され、保健衛生費も16年度決算よりも減額し、予防を重視するという考えが見えてきません。その一方で住民と十分な合意形成のないまま、巨額を投じた菓子駅関連とまちづくり事業を進め、18年度も1億6,000万円を越える金額が計上され、また溶融炉施設の維持費も年々膨らみ、多額の経費が投じられています。よって一般会計予算に反対します。

反対  
討論

武田 猛見 議員

一般会計